



住友の
24時間尿比例採集器 PAT

ユリンメート[®]P

高血圧症、糖尿病、腎疾患等の診断、予防あるいは健康管理のためには1日分の尿(24時間尿といいます)を全部集めて、その成分を調べることが大切です。

このユリンメートPは24時間尿の1/50を正確に簡単に採集する用具です。携帯型ですから場所も取らず、また、清潔に取扱いができます。

Q. 24時間蓄尿検査が、どうして必要なのですか？

24時間蓄尿検査によって腎臓の状態がわかります。

- ① 1日尿量
- ② 1日尿蛋白排泄量（基準値～0.15g/日）
- ③ 1日食塩摂取量（≒1日尿中ナトリウム排泄量）
- ④ 1日蛋白質摂取量（Maroniの式による）
- ⑤ クレアチニンクリアランス（Ccr）≒腎臓の機能

塩分や蛋白質の摂取量が、設定目標値レベルに維持できているかを診察日に確認します。

※目標値を大きく外れた場合、担当医や看護師による生活指導や管理栄養士による栄養指導を計画します。

Q. 蓄尿日の生活には特別な注意が必要ですか？

蓄尿検査は、腎障害程度の評価に加えて、日頃の食事療法状況を確認するための検査です。

日頃の食事療法（塩分や蛋白質の摂取制限など）が実践できているのか？を評価します。

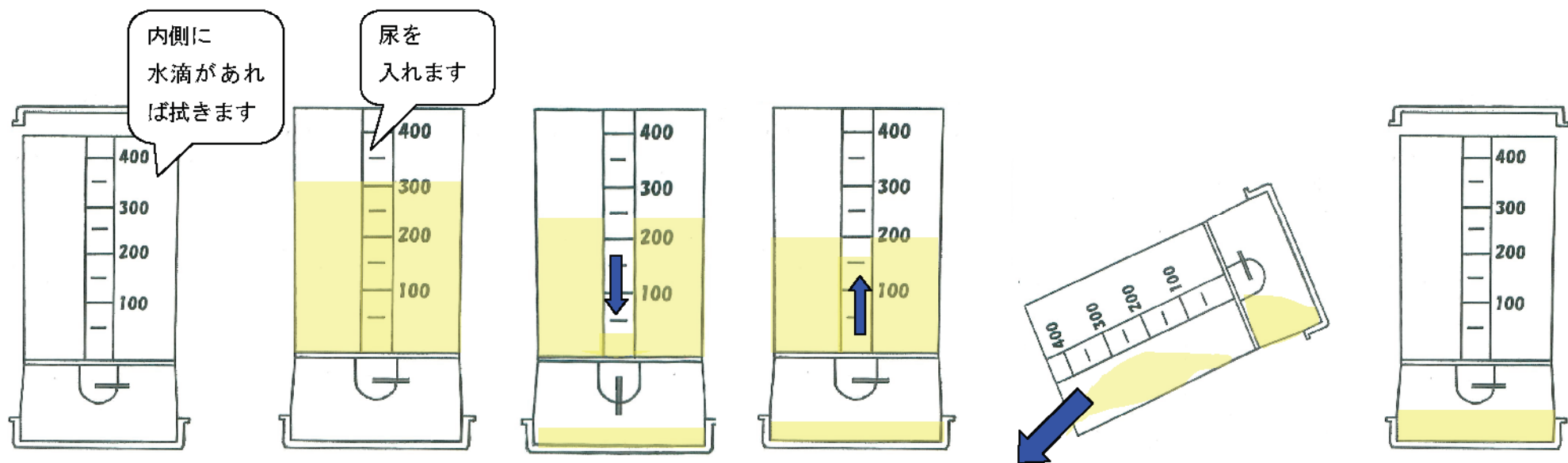
特別な1日で無く、日頃の食生活状態をみるための検査です。したがって、食事や飲み物などは、日頃、自分自身で実践している食事療法での生活を確認することになります。蓄尿日のための生活で無く、日常の生活&食事状態で蓄尿して下さい。

蓄尿検査の方法【24 時間の場合】

(例) 来院前日 AM 7:00……朝一番の尿はすてます。(尿意がなくても排尿します)
次の排尿分よりユリンメートP容器にためます。

来院日 AM 7:00……朝一番の尿を排尿し、この尿を加えて24時間尿とします。

蓄尿【ユリンメートP】の使用方法



①コックが横向きになっていることを確認。上のふたをはずす。下のふたのネジがきちんとしまっているか確認。

②尿を入れて水平に置く。

③細い管の中に尿があがりきったことを確認してから、コックを下にまわす。

④コックを横向きに戻す。

⑤残った尿をすてる。

⑥1回に 1/50 の尿がたまります。上ぶたをきちんと閉めます。排尿毎に ②～⑥を繰り返す。